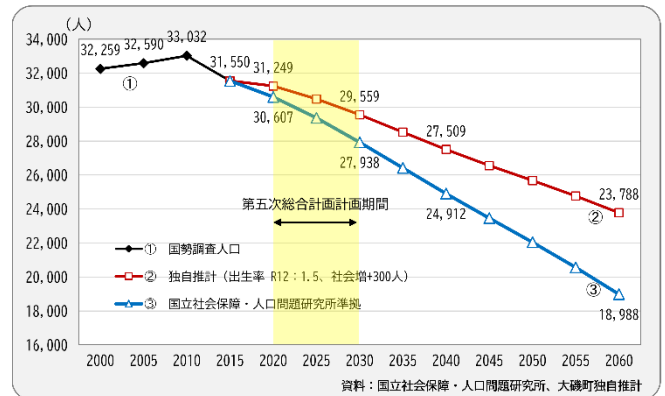


◇ 大磯町第五次総合計画基本構想の概要

令和2年9月議会定例会における審議を経て、令和2年9月29日に議決されました。「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」というまちの将来像の実現に向けて、「郷土の誇りとくらしの親和」、「つながりと創生」という2つの基本理念を掲げ、「住んでみたい」、「住み働きたい」、「いつまでも住み続けたい」と思える大磯町をめざしてまいります。

○ 将来人口（大磯町人口ビジョン）

将来推計では、令和12年の人口は約2万8,000人になると見込んでいます。人口減少の進行を抑制することを基本に、自然動態（合計特殊出生率の向上）と社会動態（転入促進、転出抑制）の両面から各施策を積極的に推進することにより、令和12年度に3万人の人口を維持することをめざします。



◇ 大磯町第五次総合計画前期基本計画の概要

基本構想の議決を受け、5つの柱による部門別計画と、それを牽引する3つの重点プロジェクトからなる基本計画を令和3年2月に決定しました。前期基本計画でめざす方向性を「人口減少・少子・超高齢社会への適応」と「定住人口の安定化」と定め、重点プロジェクトを通じて「あなただけの大磯らしいライフスタイル」の実現をめざしてまいります。

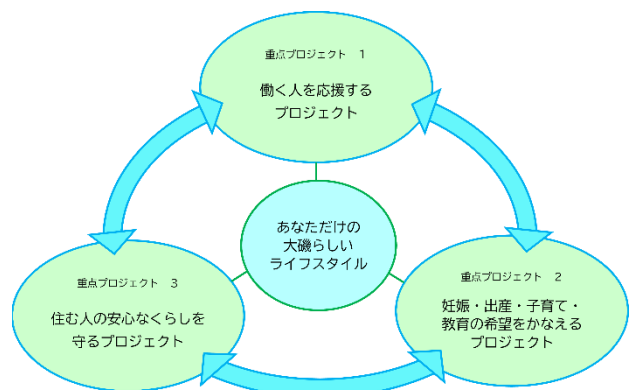
○ 重点プロジェクト ～「あなただけの大磯らしいライフスタイル」をめざして～

重点プロジェクトには次の3つを位置づけ、それぞれを関連させながら進めていきます。

- ★重点プロジェクト1 働く人を応援するプロジェクト
- ★重点プロジェクト2 妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえるプロジェクト
- ★重点プロジェクト3 住む人の安心なくらしを守るプロジェクト

その先に見据える「あなただけの大磯らしいライフスタイル」が意味するものは、「町民一人ひとりが主人公で多様な価値観を持っていて（＝あなただけの）」「大磯を舞台として、大磯の環境を生かして（＝大磯らしい）」「豊かなくらしを享受する（＝ライフスタイル）」ことです。

その答えはひとつではなく、町民一人ひとりが、自分に合った快適な生活を手に入れてほしいという想いを込めています。



○ 重点プロジェクト1「働く人を応援するプロジェクト」

《テーマ》	官民が連携して、働く世代を町に呼び込み、地域経済の活性化を推進する
《重点事業》	①地域産業基盤支援事業 ②地域経済循環形成事業 ③働く世代の移住促進事業
《主要事業》 ※令和3年度 施政方針より	「経済」 ・大磯港賑わい交流施設（OISO CONNECT）の開設（地場産農水産物や加工品、名産品の販売による各種産業の連携、地域経済の活性化） ・大磯らしい潤いづくり事業の推進（「食べる」「買う」「泊まる」の視点による消費行動につなぐ「機会」「場」の提供）

○ 重点プロジェクト2「妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえるプロジェクト」

《テーマ》	地域が一体となり子どもや子育て世代を支え、次世代へとつないでいく
《重点事業》	①子育て総合支援事業 ②地域とともに見守り育む子育て事業 ③次代を育む「大磯教育」事業
《主要事業》 ※令和3年度 施政方針より	「子育て」 ・町立幼稚園の公私連携幼保連携型認定こども園への移行準備 ・保育士就労支援交付金制度の新設 ・子育て世代包括支援センターの機能拡充（いそさぽ赤ちゃん相談室など） 「教育」 ・ICT機器を活用したデジタル教育の推進 ・コミュニティ・スクールの導入に向けた研究、検討

○ 重点プロジェクト3「住む人の安心な暮らしを守るプロジェクト」

《テーマ》	あらゆる生活の基盤を支え、安全で安心を実感できる暮らしを実現する
《重点事業》	①地域防災力向上事業 ②健康長寿推進事業 ③地域モビリティ推進事業
《主要事業》 ※令和3年度 施政方針より	「健康」 ・おあしす事業によるフレイル（虚弱）予防などの充実 ・健診結果相談会等による保健指導の充実 ・ワクチン接種の早期実現 「安全・安心」 ・支援を必要とする方を孤立させないための「地域のつながり事業」 ・大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出事業

○ 地方版総合戦略との関係

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における地方創生の視点は、前期基本計画でめざす方向性と合致することから、前期基本計画は第2期地方版総合戦略を兼ねたものとして策定しています。